

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	発達と老化の理解Ⅱ	担当者名	橋爪 直美
授業の概要	老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や、高齢者に多くみられる疾病と生活への影響、健康の維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を理解する。人間の心理や病気の知識、障害への対応方法を学ぶ、また、支援についての根拠を考えることができる。				
科目の到達目標	①発達段階における老年期の生理・心理的特徴を理解する。 ②老化に伴うこころとからだの変化と生活が心理や行動に与える影響について理解する。 ③高齢者に多い疾患・症状の特徴を理解し、観察の視点を持つことができる。				
DPの観点	⑥専門知識・技能 ⑦思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	予習として、該当するテキストの箇所と配布資料に目を通す。予習・復習についてはそれぞれ1時間程度の学習をする。				
フィードバックの方法	担当教員より、授業内活動時のレポート結果が返却される。				
単位認定の要件	毎回の授業への意欲的な参加をし、積極的かつまじめな取り組みを重視する。				
評価の方法・割合(%)	最終試験70%、授業内活動30%				
履修上の注意事項	毎回、テキストと配布プリントを持参してください。 30分以上の遅刻・早退が3回みとめられた場合、1回の欠席とし換算する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			加齢による生理機能の低下と日常生活への影響	⑥⑦	振り返りシート
2			脳・神経系の機能変化と生活への影響	⑥⑦	振り返りシート
3			感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系の変化	⑥⑦	振り返りシート
4			消化器系、腎・泌尿器系、生殖器系、免疫系の変化	⑥⑦	振り返りシート
5			認知機能、知的機能の変化と心理的影響	⑥⑦	振り返りシート
6			パーソナリティの変化、老化と動機づけ・適応	⑥⑦	振り返りシート
7			老化にともなう社会的な変化と生活への影響	⑥⑦	振り返りシート
8			健康長寿に向けての健康、三大疾病について	⑥⑦	振り返りシート
9			高齢者の症状・疾患の特徴、生活習慣病について	⑥⑦	振り返りシート
10			疾患・症状・生活上の留意点(骨格系・筋系、脳・神経系)	⑥⑦	振り返りシート
11			疾患・症状・生活上の留意点(皮膚・感覚器系)	⑥⑦	振り返りシート
12			疾患・症状・生活上の留意点(循環器系、呼吸器系、消化器系)	⑥⑦	振り返りシート
13			疾患・症状・生活上の留意点(腎・泌尿器系、内分泌系、歯・口腔系)	⑥⑦	振り返りシート
14			疾患・症状・生活上の留意点(がん、感染症、精神疾患、特定疾患)	⑥⑦	振り返りシート
15			保健医療職との連携	⑥⑦	振り返りシート
期末試験			最終試験およびレポート		

使用テキスト	最新 介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解
参考文献 参考URL	根拠がわかる解剖学・生理学(メディカ出版)川畑龍史/淡路政嗣 著
備考	授業内容により、テーマ・内容が変更となる場合があります。

10の観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--